就学児童票（案）

お子さんとご家族の状況についてお伺いします。

問1　お住まいの区としてあてはまる答えの番号１つに○をつけてください。

1．中区	2．東区	3．南区	4．西区
5．安佐南区	6．安佐北区	7．安芸区	8．佐伯区

問2　お送りした封筒の表書きに記載された【学区コード】（番号）を記入してください。

学区コード □

問3　**封筒の宛名のお子さん（以下、特にことわりのある場合以外「宛名のお子さん」といいます。）**の生年月をご記入ください。

平成 □ 年 □ 月　生まれ

問4　宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。**宛名のお子さんを含めた人数**を□内に数字でご記入ください。お２人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

きょうだいの数 □ 人　　末子の生年月　平成 □ 年 □ 月生まれ

問5　この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。

1．母親　　2．父親　　3．その他（　　）

問6　この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。あてはまる番号１つに○をつけてください。

1．配偶者がいる　　2．配偶者はいない

問7　宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主にしている方として、あてはまる答えの番号に１つだけ○をつけてください。続柄はお子さんから見た関係です。

1. 父母ともに	2. 主に母親	3. 主に父親	4. 主に祖父母
5. その他（　　）			

問8【新】　**宛名のお子さんに障害がありますか。**　追加

1．ない
2．ある　（→　問8-1へ）

問8-1【新】　問8で「2.ある」を選ばれた方にお伺いします。お子さんの障害について、あてはまる番号すべてに○をつけ、該当する（　）内には等級等をご記入ください。

1．身体障害者手帳を持っている
　→　（　　）級　（　　）　※障害の種類(部位)を記入
2．療育手帳を持っている
　→　（　　）　※Ⓐ、A、Ⓑ、Bのいずれかを記入
3．精神障害者保健福祉手帳を持っている
　→　（　　）級
4．発達障害
　→　（　　）　※診断名を記入
5．高次脳機能障害
6．難病
　→　（　　）　※診断名を記入
7．医療的ケアが必要である
　※医学の進歩を背景として、NICU(新生児集中治療室)等に長期入院した後、引き続き人工呼吸器や胃ろう等を使用し、たんの吸引や経管栄養などの医療的ケアが日常的に必要な児童

子どもの育ちをめぐる環境についてお伺いします。

問9　宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○を付けてください。

1. 父母ともに	2. 母親	3. 父親	4. 祖父母	5. 幼稚園
6. 保育園	7. 認定こども園	8. 小学校	9. 児童館・放課後児童クラブ	
10. その他（　　）				

問10　宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

1. 家庭	2. 地域	3. 幼稚園	4. 保育園	5. 認定こども園
6. 小学校	7. 児童館・放課後児童クラブ	8. その他（　　）		

問11　日頃、**宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか**。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる

（問11-1へ）

3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がい

（問11-2へ）

5. いずれもいない　（→問12へ）

問11-1は、問11で「1.」または「2.」を選ばれた方にお伺いします。

問11-1　**祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況**について、お伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他（　　）　（→問12へ）

問11-2は、問11で「3.」または「4.」を選ばれた方にお伺いします。

問11-2 **友人や知人にお子さんをみてもらっている状況**について、お伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他（　　）

問12　宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。あてはまる番号１つに○をつけてください。

1. いる／ある　（→　問12-1へ）
2. いない／ない（→　問13へ）

問12-1　問12で「1.いる／ある」を選ばれた方にお伺いします。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

１．祖父母等の親族	２．友人や知人
３．近所の人	４．子育て支援施設（児童館等）・ＮＰＯ
５．保健所・保健センター	６．保育士
７．幼稚園教諭	８．民生委員・児童委員
９．かかりつけの医師	10．小学校教諭等
11．自治体の子育て関連担当窓口	12．その他 【例】ベビーシッター（　　）

問13　子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてお伺いします。

問14　宛名のお子さんの保護者の**現在の就労状況**（自営業、家族従事者含む）をお伺いします。あてはまる答えの番号に１つだけ○をつけてください。

フルタイム・・・1週5日程度、1日8時間程度の就労
パート・アルバイト等・・・「フルタイム」以外の就労

（1）　母親　【父子家庭の場合は記入不要】

1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である

（1）-1へ

5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまでに就労したことがない

（1）母親で「1.～4.」（就労している）を選ばれた方にお伺いします。

問　１週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」と、「家を出る時間」、「帰宅時間」をお答えください。
一定でない場合は、もっとも多いパターンについて（産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況について）お答えください。

（1）-1　**就労日数**　１週当たり［　　］日　　**就労時間**　1日当たり［　　］時間

（1）-2　**家を出る時間**［　　］時［　　］分　　**帰宅時間**［　　］時［　　］分

※時間は、必ず（例）７時３０分、１７時３０分のように２４時間制でお答えください。

（2）　父親　【母子家庭の場合は記入不要】

1. フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である

（2）-1へ

5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまでに就労したことがない

（2）父親で「1.～4.」（就労している）を選ばれた方にお伺いします。

問　１週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」と、「家を出る時間」、「帰宅時間」をお答えください。
一定でない場合は、もっとも多いパターンについて（育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況について）お答えください。

（2）-1　**就労日数**　１週当たり［　　］日　　**就労時間**　1日当たり［　　］時間

（2）-2　**家を出る時間**［　　］時［　　］分　　**帰宅時間**［　　］時［　　］分

※時間は、必ず（例）７時３０分、１７時３０分のように２４時間制でお答えください。

問14の（1）母親または（2）父親で「3.」、「4.」（パート・アルバイト等で就労している）を選ばれた方にお伺いします。該当しない方は問16または問17へお進みください。

問15　フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまる答えの番号１つに○をつけてください。

（1）　**母親**

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

（2）　**父親**

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問14の（1）母親または（2）父親で、「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」、「6.これまでに就労したことがない」を選ばれた方にお伺いします。該当しない方は、問17へお進みください。

問16　就労したいという希望はありますか。あてはまる答えの番号・記号すべてに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください。

（1）　**母親**

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. １年より先、一番下の子どもが □ 歳になったころに就労したい
3. すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい

→希望する就労形態
- ア．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）
- イ．パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）
  - ↳（１週当たり □ 日・１日当たり □ 時間）

（2）　**父親**

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. １年より先、一番下の子どもが □ 歳になったころに就労したい
3. すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい

→希望する就労形態
- ア．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）
- イ．パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）
  - ↳（１週当たり □ 日・１日当たり □ 時間）

問17　すべての方にお聞きします。あなたの生活の中で、「仕事時間」と「家事（育児）・プライベートの生活時間」の優先度についてお伺いします。「希望」と「現実」それぞれについて回答欄の中から、あてはまるもの１つに○をつけてください。

「希望」

1. 仕事時間を優先
2. 家事（育児）時間を優先
3. プライベートを優先
4. その他　（　　）

「現実」

1. 仕事時間を優先
2. 家事（育児）時間を優先
3. プライベートを優先
4. その他　（　　）

すべての方に、放課後等の居場所についてお伺いします。

問18　宛名のお子さんは、**現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。**あてはまる答えの番号**すべてに○をつけ、それぞれ該当する週当たり日数**を数字でご記入ください。
また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用している時間も数字でご記入ください。時間は（例）18時30分のように２４時間制でご記入ください

※「児童館」・・・
遊戯室や図書室等があり、指導員の下、子どもが自由に来て、遊ぶことができる施設です。広島市の児童館では、館内で放課後児童クラブを実施していますが、館内のを利用する場合には、「児童館」ではなく、「放課後児童クラブ」で回答してください。

※「放課後児童クラブ」・・・
保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、小学校６年生までの子どもの生活の場を提供する事業です。

※「放課後プレイスクール」・・・
放課後の小学校施設を活用して、地域の大人の見守りにより安全な遊び場を確保し、遊びを通した体験活動や異年齢間の交流促進などを行う事業です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生の参加が可能です。

※「放課後等デイサービス」・・・
就学中の障害児に対して、放課後等に、放課後等デイサービス事業所において、生活能力の向上のために必要な訓練や社会との交流の促進などのサービスを提供します。

※「ファミリー・サポート・センター」・・・
子どもの一時預かりなどの援助を受けたい方（依頼会員）と、子育ての援助を行いたい方（提供会員）を登録し、会員同士で子育てを援助する組織（有償ボランティア）です。

1. 自宅	週	□	日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	□	日くらい
3. 習い事 （ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週	□	日くらい
4. 児童館（放課後児童クラブは除く。）	週	□	日くらい
5. 放課後児童クラブ	週	□	日くらい
	→下校時から	□	時 □ 分まで
6. 放課後プレイスクール	週	□	日くらい
7. 放課後等デイサービス	週	□	日くらい
8. ファミリー・サポート・センター	週	□	日くらい
9. その他（公民館、公園など）	週	□	日くらい

問18-1は、問18で「5.放課後児童クラブ」に○をつけた方にお伺いします。該当しない方は問19へお進みください。

問18-1　利用している放課後児童クラブに対してどのように感じていますか。それぞれの項目について、1～5の中から１つずつ選んで○をつけてください。

項　目	満　足	まあまあ満足	どちらでもない	やや不満	不　満
ア．施設・環境	1	2	3	4	5
イ．指導員等の配置状況（人員体制）	1	2	3	4	5
ウ．子どもへの接し方	1	2	3	4	5
エ．病気やケガのときの対応	1	2	3	4	5
オ．保護者への情報伝達	1	2	3	4	5
カ．保護者の要望・意見への対応	1	2	3	4	5
キ．安全対策	1	2	3	4	5
ク．衛生対策	1	2	3	4	5
ケ．開設時間	1	2	3	4	5
コ．総合的な評価	1	2	3	4	5

問19及び問19-1は、宛名のお子さんが、現在、放課後児童クラブを利用していない方にお伺いします。

問19　利用していない理由について、もっともあてはまる答えの番号**１つに**○をつけてください。

1．現在就労していないため

2．就労しているが、就労日数が少ない、就労時間が短いなど放課後児童クラブの対象児童の要件（就労のため、週４日以上、午後５時頃まで家庭にいないこと等）に適合していないため

3．対象児童の要件に適合しているが、祖父母や友人・知人など他に見てくれる人がいるため

4．対象児童の要件に適合しているが、子どもだけで大丈夫だと思うため

5．対象児童の要件に適合しているが、開設時間が短いため

6．対象児童の要件に適合しているが、空きがないため

7．対象児童の要件に適合しているが、近くにないため

8．その他（　　）

問19-1　現在、放課後児童クラブを利用していないお子さんについて、今後、放課後児童クラブを利用したいとお考えですか。あてはまる番号１つに○をつけてください。また、利用を希望する場合には、**週当たり日数**を数字でご記入ください。

1．利用したい　⇨　週［　　］日くらい　（→問19-2へ）

2．利用希望はない

問19-2は、問19-1で「1.利用したい」に○をつけた方にお伺いします。

問19-2　今後、放課後児童クラブを利用したい理由について、もっともあてはまる答えの番号**１つに**○をつけてください。

1. 現在就労している
2. 就労予定がある／求職中である
3. そのうち就労したいと考えている
4. 家族・親族などを介護しなければならない
5. 病気や障害があり、子どもを監護することが困難である
6. 学生である／就学したい
7. 就労していないが、子どもの教育などのために預けたい
8. その他（　　）

問20　宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる答えの番号**すべてに**○をつけ、**それぞれ希望する週当たり日数**を数字でご記入ください。
また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する学年、時間も数字でご記入ください。時間は（例）18時30分のように、２４時間制でお答えください。

1. 自宅	週	□	日くらい			
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	□	日くらい			
3. 習い事 （ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週	□	日くらい			
4. 児童館（放課後児童クラブは除く。）	週	□	日くらい			
5. 放課後児童クラブ	小学校	□	年生まで	週	□	日くらい
	→下校時から	□	時	□	分まで	
6. 放課後プレイスクール	週	□	日くらい			
7. 放課後等デイサービス	週	□	日くらい			
8. ファミリー・サポート・センター	週	□	日くらい			
9. その他（公民館、公園など）	週	□	日くらい			

問21は、問20で、「5.放課後児童クラブ」を選ばれた方にお伺いします。

問21　宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。（１）土曜日、（２）日曜日・祝日のそれぞれについて、あてはまる答えの番号１つに○をつけ、利用を希望する学年と利用したい時間帯を２４時間制で記入してください。（例）８時00分から18時30分のように、２４時間制でお答えください。

（１）土曜日

1. 利用したい ⇒
2. 利用希望はない

ア．利用を希望する学年
小学校 □ 年生まで
イ．利用したい時間帯
□ 時 □ 分から
□ 時 □ 分まで

（２）日曜日・祝日

1. 利用したい ⇒
2. 利用希望はない

ア．利用を希望する学年
小学校 □ 年生まで
イ．利用したい時間帯
□ 時 □ 分から
□ 時 □ 分まで

問22　宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の、放課後児童クラブの利用希望はありますか。あてはまる答えの番号１つに○をつけ、利用を希望する学年・利用日数、利用したい時間帯を２４時間制で記入してください。（例）８時00分から18時30分のように、２４時間制でお答えください。

1. 利用したい ⇒
2. 利用希望はない

ア．利用を希望する学年
小学校 □ 年生まで
週 □ 日くらい
イ．利用したい時間帯
□ 時 □ 分から
□ 時 □ 分まで

すべての方に、子どもの遊び場についてお伺いします。

問23　休日や学校が終わってからの日常的な遊び場は主に次のどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 公園	2. 児童館（放課後児童クラブを含む。）
3. 自然の遊び場（山、川、田畑、雑木林等）	4. 公園以外の広場、空き地、河川敷等
5. 自宅や友達の家	6. 道路、路地等
7. 学校の校庭	8. 自宅の庭やマンション等の敷地内
9. その他（　　）	

問24　あなた御自身の子ども時代と比べて、子どもの遊び環境に満足していますか。

1. 満足　2. おおむね満足　3. やや不満　4. 不満

問24-1及び問24-2は、問24で「3.やや不満」または「4.不満」を選ばれた方にお伺いします。「1.満足」または「2.おおむね満足」を選ばれた方は、問25にお進みください。

問24-1　上の質問で「やや不満」、「不満」と回答された方にお聞きします。どのような点が不満ですか。主なものを３つまで選んで○をつけてください。

1. 近所に遊び場がない
2. 不衛生である
3. いつも閑散としていて寂しい感じがする
4. 遊具などの設備が古く、子どものニーズに合っていない。
5. 遊び場やその周辺の環境が悪くて、安心して遊べない
6. 遊び場周辺の道路が悪くて危険である
7. 自然に触れ合える場がない
8. 遊び場に行っても子どもと同じ歳くらいの遊び仲間がいない
9. 遊び場の利用時間に制約がある
10. 子ども自身に十分な遊びのための時間がない
11. その他（　　）

問24-2　あなた御自身の子ども時代と比べて、お子さんの遊び時間は十分だと思いますか。

1. 自分の子ども時代より多い
2. 自分の子ども時代と同程度である
3. 自分の子ども時代より少ない

問25　すべての方にお聞きします。どんな遊び場があればいいと思いますか。３つまで選んで○をつけてください。

1. 滑り台やブランコなどの遊具が充実した遊び場
2. 気兼ねなくボール遊びなどができる広いグラウンド・広場
3. 悪天候でも遊べる屋内の遊び場
4. 植物や昆虫など自然に触れ合える遊び場
5. 水遊び、泥んこ遊び、木登りなどが自由にでき、その遊びの見守りや支援を行う大人（プレイリーダー）がいる遊び場
6. その他（　　）

すべての方に、お子さんの病気の際の対応についてお伺いします。

問26　この１年間に、宛名のお子さんが病気やケガで小学校を下校したことはありますか。

1.　あった　（→　問26-1へ）	2.　なかった　（→　問27へ）

問26-1は、問26で「1. あった」を選ばれた方にお伺いします。

問26-1　**この１年間の対処方法とそれぞれの日数はおおよそ何日ですか。**あてはまる答えの番号**すべてに**○をつけ、**それぞれの日数**を記入してください。
（半日程度の対応の場合も、１日としてカウントしてください。）

1. 父親が休んだ	□	日
2. 母親が休んだ	□	日

問26-2へ

3.（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった	□	日
4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	□	日
5. 病児・病後児の保育を利用した	□	日
6. ベビーシッターを利用した	□	日
7. ファミリー・サポート・センターを利用した（地域の有償ボランティアによる子育て支援事業）	□	日
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□	日
9. その他（　　）	□	日

問26-4へ

問26-1で「1.父親が休んだ」または「2.母親が休んだ」を選ばれた方にお伺いします。

問26-2　その際、**「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われたことはありますか。**あてはまる答えの番号に○をつけてください。**また、「1.できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」を選ばれた方は、**枠内に日数を記入してください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい→	□	日
2. 利用したいとは思わない　→問26-3へ		

問26-2で、「2. 利用したいと思わない」を選ばれた方にお伺いします。

問26-3 利用したいと思わない理由について、あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安	2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間日数など）がよくない	
4. 利用料がかかる・高い	5. 利用料がわからない
6. 親が仕事を休んで対応する	7. その他（　　）

問26-1で「3.」～「9.」を選ばれた方にお伺いします。

問26-4 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。あてはまる答えの番号１つに○をつけ、「3」～「9.」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についてもご記入ください。

1. できれば仕事を休んで看たい ⇨ [　　] 日
2. 休んで看ることは非常に難しい

問26-5 問26-4で「2.」を選ばれた方にお伺いします。「休んで看ることは非常に難しい」理由について、あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの介護を理由に休みがとれない	2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないので休めない	4. その他（　　）

すべての方に、お子さんの不定期の預かり等の利用についてお伺いします。

問27　宛名のお子さんについて、お子さんの病気のため以外に、私用（冠婚葬祭、リフレッシュ等）、親の通院、不定期の就労等の目的で、**不定期に**利用している事業はありますか。ある場合は、あてはまる番号**すべてに**○をつけ、**１年間の利用日数（おおよそ）**についても数字でご記入ください。

1. ファミリー・サポート・センター （地域の有償ボランティアによる子育て支援事業）	□	日
2. 夜間養護等事業：トワイライトステイ （児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業）	□	日
3. ベビーシッター	□	日
4. その他（　　）	□	日
5. 利用していない　（→問27-1へ）		

問28へ

問27-1　現在利用していない理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1.　特に利用する必要がない	2.　利用したい事業が地域にない
3.　地域の事業の質に不安がある	4.　地域の事業の利便性（立地や利用可能時間日数など）がよくない
5.　利用料がかかる・高い	6.　利用料がわからない
7.　自分が事業の対象者になるのかどうかわからない	8.　事業の利用方法（手続き等）がわからない
9.　その他（　　）	

問28　宛名のお子さんについて、私用（冠婚葬祭、リフレッシュ等）、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について、あてはまる番号・希望すべてに○をつけ、必要な日数（おおよそ）と目的別の内訳について数字でご記入ください。

1.　利用したい		計 □	日
（内訳）	ア 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	□	日
	イ 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	□	日
	ウ 不定期の就労	□	日
	エ その他（　　）	□	日
2.　利用する必要はない			

問29　この１年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを**泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないこと**はありましたか。

1.　あった（預け先が見つからなかった場合を含む）	2.　なかった

問29-1は、問29で「1.あった」を選ばれた方にお伺いします。

問29-1　この１年間の**対処方法とそれぞれの泊数はおおむね何日ですか。**あてはまる答えの番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を記入してください。

1.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	泊	→問29-2へ
2. ショートステイを利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを預かる事業）	泊	
3. 2以外の保育事業を利用した（認可外保育施設、ベビーシッター等）	泊	
4. 仕方なく子どもを同行させた	泊	
5. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	泊	
6. その他（　　）	泊	

問29-1で「1.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」を選ばれた方にお伺いします。

問29-2　その場合の**困難度はどの程度でしたか。**（あてはまる答えの番号１つに○をつけてください。）

1.　非常に困難	2.　どちらかというと困難	3.　特に困難ではない

すべての方に、子育てに関する悩みや不安感についてお伺いします。

問30　あなたは、自分にとって子育てを楽しいと感じることが多いと思いますか？それともつらいと感じることが多いと思いますか？あてはまるもの１つに○をつけてください。

1. 楽しいと感じることの方が多い
2. 楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい
3. つらいと感じることの方が多い
4. わからない
5. その他　（　　）

問31　子育ての精神的な負担を減らすために、どのような支援が必要ですか。主なものを**３つまで**選んで○をつけてください。

1. 子どもの一時預かりなど親がリフレッシュするための支援
2. ヘルパーなどによる家事支援
3. 子育てについていつでも気軽に相談できる体制の整備（例：２４時間電話相談ダイヤル）
4. 同じくらいの年齢の子どもを持つ親と気軽に交流できる場の提供
5. 配偶者・パートナーの育児参加のための労働環境整備
6. 子どもとの関わり方等について学べる講座の開催
7. 子育てにかかる経済的支援の充実
8. 民生委員・児童委員など地域の人による支援体制の充実
9. その他（具体的に　　）

問32　子育てしやすく、子どもが健やかに育つ社会をつくるために、国や市などの行政に何を期待しますか。**主なものを３つまで**選んで○をつけてください。

1. 労働時間の短縮、育児休業や介護休暇制度など、家庭生活と両立する職場環境の整備
2. 多様な保育サービスの充実や、放課後児童に対する施策の充実
3. 安心して出産や子育てができる医療サービスの充実
4. 子育てについて相談できる機関やサービスの充実
5. 住宅や遊び場・公園の整備など、子育てしやすいまちづくり
6. 遊び・スポーツ・文化活動など、豊かな人間性をつくる学校外活動の充実
7. 児童手当制度の充実や教育費や医療費の負担軽減など、経済的な支援の充実
8. 男女でともに子育てをすることについての意識啓発
9. 子どもを犯罪や事故から守る安全・安心な環境づくり
10. 子どもの有無に関わらず、すべての市民が子育てを支える仕組みづくり
（具体的に：　　）
11. 日中、家庭で子育てをしている（保育園を利用していない）世帯への支援の充実
（具体的に：　　）
12. その他（具体的に　　）

問33　**下記のサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありますか。また、今後、利用したいと思いますか。**サービスごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」、「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

サービスの内容	A 知っている	B これまでに利用したことがある	C 今後利用したい
①公民館の家庭教育支援事業 （家庭教育学級、子育て広場等）	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
②青少年総合相談センター （不登校、いじめ、先生・友達関係、学習、進路等の総合的な相談窓口）	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
③児童相談所 （非行、不登校、発達の遅れ、養育困難・虐待等の総合的な相談窓口）	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
④地域子育て支援センター （各区役所厚生部に設置。子育てに関する相談、子育て情報の提供等の育児支援）	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
⑤男女共同参画推進センター（女性・男性のためのなんでも相談） （子育てのことなど、女性・男性が直面するさまざま悩みや不安などの相談窓口）	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
⑥こども家庭相談コーナー （各区役所厚生部に設置。家庭での養育、子どもを取り巻く家族関係、家庭環境等の相談窓口）	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ

問34　お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について、あてはまる番号１つに○をつけてください。

満足度が低い ←→ 満足度が高い				
1	2	3	4	5

問35　**最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。**

たくさんの質問にご回答いただき、誠にありがとうございました。

お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて封をした後、平成３０年○月○日（○）までに、切手をはらずにそのままご投函ください。なお、封筒、調査票への氏名の記入は不要です。